

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-1-3		事業名	子どものまちづくりへの参加促進事業	
担当	市民まちづくり局地域振興部市民自治推進室市民自治推進課 岩淵 211-2253				
全体計画					
事業内容	<p>まちづくりは人づくりと言われるように、地域の自主的・自立的な活動を将来にわたって持続可能なものとし、「自分たちの地域で考え、決め、そして行動する」という市民自治による、ふれあいあふれる地域社会を構築するためには、将来のまちづくり(1)の主役である子どもたちに早くからまちづくりへの参加機会を提供するとともに、関心を高めることにより、自治意識の醸成を図ることが重要である。</p> <p>このことから、子どもたちに地域のまちづくりやボランティアを体験する機会を提供し、参加との楽しさを学習することを通じて、「現在の」又は「将来の」新たな活動の担い手を育成するため、以下の事業を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>子どもまちづくり手引書等作成 子どもの意見などを反映させながら、子どもたちが自らできるまちづくり活動やその取組方法などを紹介する手引書等を作成。 子どもまちづくり体験事業等の実施 区や地域の課題を意識し、「現場をみて学び、ワークショップなどで考え、課題解決を实践する」を基本とする、実践体験事業などを区の創意や裁量により実施。</p>		<年度別の事業内容>		
			<p>19年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気なまちづくり支援事業(2)の予算を活用し、各区の創意や裁量により子どもたちにまちづくり体験等の機会を提供。 <p>20年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気なまちづくり支援事業の予算を活用し、各区の創意や裁量により子どもたちにまちづくり体験等の機会を提供。 ・子どもの意見などを反映させながら、子どもまちづくり手引書等を作成。 <p>21～22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気なまちづくり支援事業の予算を活用し、各区の創意や裁量により子どもたちにまちづくり体験等の機会を提供。 <p>1 地域一斉清掃や植栽などの環境美化活動や子どもやお年寄りの見守り活動など、地域(まち)が抱えている課題に対応して、さまざまな活動の实践により解決を図り、暮らしやすいまちを創っていく活動。</p> <p>2 区の創意や裁量によって、区の課題を解決するための活動を行う事業。用途は原則的に各区長の判断に委ねている。</p>		
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
	<p>元気なまちづくり支援事業の予算を活用し、各区の創意や裁量により、区や地域の特性を活かして、子どもたちにまちづくりやボランティア体験の機会を提供した。</p> <p>各区で環境美化活動や自分達の地域をより知る活動、地域の安全マップ製作事業など13事業(事業費総額8,313千円)を実施。延べで6,000人を超える子どもたちが参加した。</p>		<p>19年度に引き続き、元気なまちづくり支援事業の予算を活用し、各区の創意や裁量により、区や地域の特性を活かして、子どもたちにまちづくりやボランティア体験の機会を提供した。</p> <p>また、小学校教諭の意見などを反映させながら、子どもたちが自らできるまちづくり活動やその取組方法などを紹介する子どもまちづくり手引書を作成し、市内全小学校3年生を対象に配布した。</p>		
場所	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)		
	<p>19年度、20年度に引き続き、元気なまちづくり支援事業の予算を活用し、各区の創意や裁量により、区や地域の特性を活かして、子どもたちにまちづくりやボランティア体験の機会を提供した。</p> <p>また、子どもたちが自らできるまちづくり活動やその取組方法などを紹介する子どもまちづくり手引書を引き続き、市内全小学校3年生を対象に配布した。</p> <p>子どもたちのまちづくり参加のきっかけとするとともに、まちづくりセンターのPRを図るため、小学生4～6年生ををとおもな対象とする、まちづくりセンターを巡るスタンプラリーを実施。180人が参加した。</p>		<p>引き続き、元気なまちづくり支援事業の予算を活用し、各区の創意や裁量により、区や地域の特性を活かして、子どもたちにまちづくりやボランティア体験の機会を提供する。</p> <p>また、子どもまちづくり手引書についても内容を一部改訂し、引き続き市内全小学校3年生を対象に配布する。</p>		
規模					
件数					
等					

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-1-3			事業名	子どものまちづくりへの参加促進事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
子どものまちづくり体験事業の実施回数	-	13回	21回	17回	14回	10回(1区1回)(20年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 各区における事業は、地域で行われている既存事業への参加など様々な手法により行われており、地域でまちづくり活動を行っている市民の協力のもとに実施されている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] 各区での事業実施にあたっては、町内会など地域で実際にまちづくりを行っている様々な団体にご協力いただいている。 [情報協力] 各区においては、町内会など地域の様々な団体から情報を受けながら事業を実施している。 [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 各区においては、子ども達が参加、活動しやすいよう配慮し、土日はもちろん、夏休み、冬休みの期間を利用して事業を実施している。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>10区全体で合計17の区や地域の特性を活かした事業が実施され、多くの子どもたちが参加した。このことによって、参加した子どもたちに対して、まちづくりの楽しさ等を伝えることが出来た。 また、地域活動への子どもたちの参加により、世代を超えたまちづくり等の活動が盛んになるなど、世代間交流を図ることも出来た。 また、小学校教諭の意見などを反映させながら、子どもたちが自らできるまちづくり活動やその取組方法などを紹介する子どもまちづくり手引書を作成。市内全小学校3年生を対象に配布することで、子どもがまちづくりを考えるきっかけを与えることが出来た。</p>			<p>子どもたちが安全・安心して暮らせるために、地域が主体となり防犯活動等の取り組みが盛んに行われているように、子ども達は、地域のコミュニティー活動の中心となっているが、子ども会への加入者が減少していることを見るまでもなく、子どもと地域の関係は希薄化しつつある。 このため、実際のまちづくり活動への参加体験等を通じて、子どもたちにまちづくり活動の大切さなどを学んでもらう必要があるとともに、子どもたちと地域社会との関わりを深めていく必要がある。 また、地域で活動している各団体は、活動の担い手不足に悩んでおり、子どものときからまちづくりへの関心を高め、自治意識の醸成を図ることによって将来の活動の担い手を育成していくことが必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
札幌市の大切なまちづくりの担い手であるとともに、将来のまちづくりの主役である子どもたちの自治意識を育むため、各区の創意や裁量により、区や地域の特性を活かした、まちづくりやボランティア体験の機会を充実していく。							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-1-3			事業名	子どものまちづくりへの参加促進事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000			
予算	事業費	13,375	22,643	23,903	10,662	70,583				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	13,375	22,643	23,903	10,662	70,583			
実績	事業費	8,313	11,563	14,278	-	34,154				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0			
		市の債	0	0	0		0			
		その他の	0	0	0		0			
		一般財源	8,313	11,563	14,278		34,154			
事業費の進捗率		(H19実績 + H20実績 + H21実績 + H22予算事業費) / (計画事業費)					112.0%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体) 全体計画に変更はないが、19年度計画に下記のとおり差異が生じたことに伴い、20年度に再度実施する。										
[19年度] 子どものまちづくり手引書等については、内容の検討に時間を要したため作成までには至らなかった。										
[20年度] 元気なまちづくり支援事業において、新たなまちづくりの参加促進策を拡充するため、全市を対象とした効果的な事業を展開する「10区共同事業」を新たに設け予算を措置した。										
[21年度] 各局区において効率的な事業運営に努めた結果、決算では減となった。										
[22年度]										